

◎ 施政方針が示す新たな政策の意図は

問 重点的に取り組む事業分野として、保健、医療、福祉、子育て・教育に加え、農を活かしたまちづくりを挙げた。政策の目的は何か。

答 市民生活の質を高めるため、本市の資源である農や農産物、農に係る歴史や文化、人や技術などを活用し、パートナーシップのまちづくりを具現化したい。

問 本市は、官民協働まちづくりを進めてきた。なぜ、平成22年度が「市民とパートナーシップまちづくり」の第一歩なのか。

答 財政は厳しさを増し、市民ニーズは多様化している。持続性ある自立的なまちづくりには、行政への市民参加が不可欠と考え、このような表現を使った。

問 2つの政策を本腰で取り組むためには、まちづくりの実体験による人づくり、市民と行政との同じ目線づくりが求められるか。どう考えるか。

答 まちづくりの楽しさと公益への貢献意識を実感できる仕組みを構築していきたい。同じ目線づくりには、シンポジウムや講演会の開催などが有効な手段と考える。



協働まちづくりセンター「ふらっと」

◎ 山名小学校校舎増設は普通教室だけか

問 増設規模8教室は、普通教室の増設しか考えていないのでは。

答 平成30年度には、普通学級が最大29学級と予測される。現在の学習室や多目的室を特別教室に転用することで、袋井北小学校と、同程度の特別室が確保できる。

◎ 山梨幼稚園移転に伴い信号機の設置は

問 県道掛川山梨線の山名小学校西、コンビニ付近交差点に信号機の設置が必要では。

答 本路線は、山名小学校の通学路として多くの児童が利用している。4月には山梨幼稚園も新たに開設することから、早期設置に向けて、引き続き県公安委員会へ要望していく。

◎ 三日坊さんの旅をもっとPRすべき

問 市のまちおこしの一つとして観光の目玉となるようマスコミを利用し、全国発信できるようPRに協力すべきだ。

答 市としては、企画・発案当初の段階から参加し、全面的に協力をしている。今後も多くの方が参加されることを期待している。



2月に行われた「三日坊さんの旅」